

景気動向指数  
平成 24 年 12 月分（速報）の概要

12月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：93.4、一致指数：92.7、遅行指数：86.3となった。（注）

先行指数は、前月と比較して1.4ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.53ポイント上昇し、8ヶ月振りの上昇、7ヶ月後方移動平均は0.29ポイント下降し、6ヶ月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して2.5ポイント上昇し、9ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.47ポイント上昇し、7ヶ月振りの上昇、7ヶ月後方移動平均は0.50ポイント下降し、6ヶ月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して0.1ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.10ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇、7ヶ月後方移動平均は0.05ポイント下降し、32ヶ月振りの下降となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、悪化を示している。ただし、C I一致指数の前月差は9ヶ月振りにプラスに転じた。

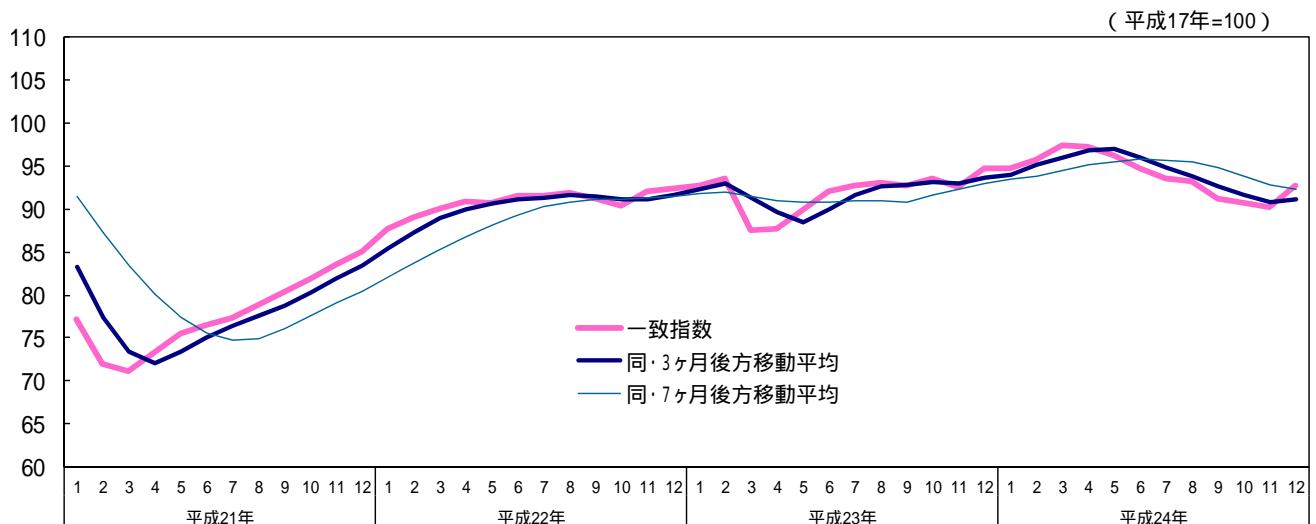
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.53	C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.06
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.45	C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.06
C10：中小企業出荷指数(製造業)	0.44		
C4：耐久消費財出荷指数	0.39		
C1：生産指数(鉱工業)	0.26		
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.21		
C3：大口電力使用量	0.19		
C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	0.19		
		C9：営業利益(全産業)	-0.03

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）現時点で得られる値のみで求めた。